

足の甲にカサカサした湿疹ができ治りません
固定性扁平豆状角化症の可能性がります
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

固定性扁平豆状角化症の症状



足や手の甲に赤茶色の
カサカサとしたポツポツ
ができ、次第に増えてい
く。この症状について
日本皮膚科学会認定皮膚
科専門医・立川皮膚科ク
リニックの伊東秀記先生
に聞きました。

「この症状について教え
て下さい」

「固定性扁平豆状角化
症」の疑いがあります。
フレアゲル病とも呼ばれ
るこの疾患は、足の甲や
手の甲などに、1〜5mm
ほどの赤褐色の扁平状の
角化性丘疹が左右対象に
でき、次第に増えていき
ます。かゆみや痛みはあ
りませんが、カサカサし
た部分をほがすと点状に
出血するのも特徴です。
発症年齢は主に30〜50代
で中年に多くみられま
す。原因は不明です」

「治療法は？」

「ステロイド軟膏やビ
タミンD3軟膏を処方し
ます。原因は不明です」

「固定性扁平豆状角化症に
似た症状の疾患として、
穿孔性皮膚症、日光角化
症などがありますので、
鑑別診断ののち、治療を
行います。症状がおさま
らず長引く際は、まずは
皮膚科の医師に相談して
ください」

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門
医、東京慈恵会医科大学医学部卒
業

問い合わせ
Tel.042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

2022年4月22日付 「リビング多摩」に掲載されました